

3端子コンデンサ（EMI 除去フィルタ）のハンダ付けの手順(2013/12/25改定)

1) 基板の片方のランドにハンダを盛る

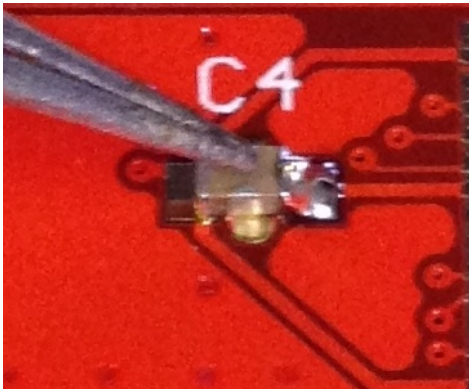


2) 盛ったハンダをコテ先で溶かしながら、コンデンサをピンセットを使って載せる



※この時、コンデンサが曲がったりずれていないか位置決めをきちんとすること。

コンデンサが浮いてしまった場合は、ピンセットや爪先で上から押してハンダを溶かして直す。

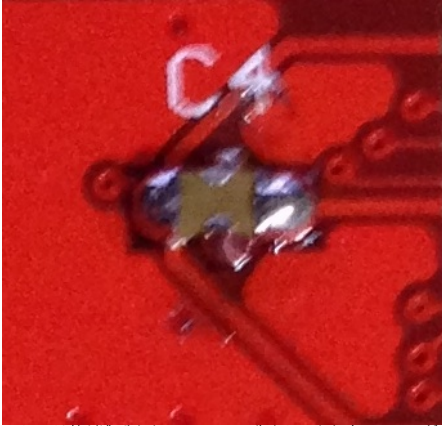


3) 残りの片方をハンダ付けする。



※最初にハンダ付けした方をもう一度ハンダを溶かして、コンデンサが剥がれないか確認する。

4) 両脇の端子をGNDにハンダ付けする。



※GNDは熱が逃げやすいので、コテ先をしっかりと当ててハンダを付けること。

※ハンダが多すぎて左右の端子とブリッジしたら、コテ先のハンダを取り除いてから、上・下の端子にコテ先を当てて、余分なハンダをコテ先に移すと修正できる。

5)最後にテスターで、端子がGNDに落ちていないか道通していないことを確認する。

これをやらないと、電源がGNDに落ちた状態になるので危険です。

※左右の端子と上下の端子間で導通がなければ成功です。